

令和七年鉢形城歴史館

秋季企画展

神流川合戦を探る



開催期間：令和7年10月11日（土）～11月24日（月・祝）

開館時間：午前9時30分～午後4時30分
（入館は午後4時まで）

入館料：○一般…200円 ○高校・大学…100円
○70歳以上の方、中学生以下の方、
障がい者手帳をお持ちの方……………無料

休館日：10月14日（火）、20日（月）、27日（月）、
11月4日（火）、10日（月）、17日（月）

主催：寄居町・寄居町教育委員会

鉢形城歴史館

〒369-1224

埼玉県大里郡寄居町大字鉢形 2496-2

☎：048-586-0315 Fax:048-580-0818

E-mail:bh4411@town.yorii.saitama.jp



鉢形城歴史館

検索

展示概要

天正十年三月、天下統一を目指す織田信長は、小田原北条氏の最大のライバルであった武田氏を滅しました。その信長も三ヶ月後である六月二日に本能寺の変によりこの世を去ります。

武田氏滅亡後関東支配を任された滝川一益は、信長横死を聞きつけて出陣してきた小田原北条氏軍と対決する姿勢を示します。鉢形城主北条氏邦は初戦金窪城周辺で滝川軍と衝突し敗走しますが、兵力でまさる北条軍の主力が押し勝ち、一益は上野国から逃げ落ちていきました。これを「神流川合戦」と呼び、戦国時代の関東では最も大規模な野戦（平地戦）であったと言われています。

一益を追尾するかたちで、上野から信濃に進出した北条軍は、やがて甲斐国まで進出し、徳川家康と対峙する「天正壬午（てんしやうじんご）の乱」へとつながっていきます。のち家康と和平の折、国分けて沼田領を北条氏が得たことに、真田昌幸が反発し、小田原合戦の火種を残したのです。

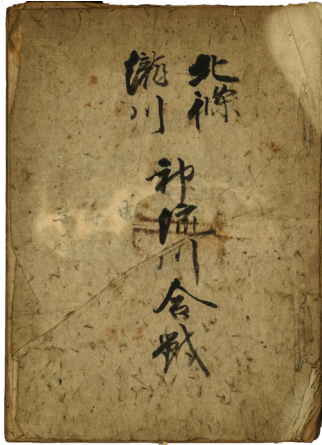
このように、天正十年はめまぐるしく政情が変化した年で、そのなかでも小田原北条氏にとって重要な戦いがこの「神流川合戦」でした。残念ながらこの合戦は史料に恵まれず、研究が進んでいないことが現状です。今回の展示は、周辺の伝承地等をパネルで紹介し、関連する城郭の出土遺物等の資料を展示することで、「神流川合戦」の実情の一端に触れます。



神流川合戦古戦場跡（高崎市新町陣場）



金窪城跡（上里町金久保）



北条滝川神流川合戦記（個人蔵）



桐塚稲荷社（藤岡市岡の郷）



首塚八幡社（高崎市新町実見塚）



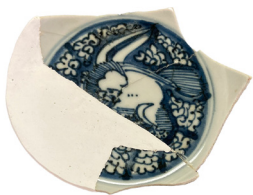
今城青八坂稲実池上神社（上里町忍保）



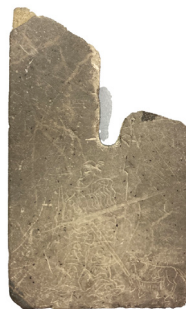
厩橋城跡出土遺物（白磁皿）



厩橋城跡出土遺物（石臼）



箕輪城跡出土遺物（染付皿）



箕輪城跡出土遺物（硯）

刻線で武将が描かれています

表面挿図 最上部 神流川合戦場（神流川）

中央右 神流川合戦絵巻

中央左 神流川合戦古城跡碑

下左 厩橋城跡出土遺物（青磁香炉）

下右 箕輪城跡出土遺物（初山大皿）